

令和4年度在南米・在北米被爆者健康相談等事業の実施状況について

1 趣旨

在外被爆者の健康保持及び増進を図るため、在外被爆者健康相談等事業を南米及び北米で実施した。

※実施都市 サンパウロ（ブラジル）、ロサンゼルス（アメリカ）、バンクーバー（カナダ）

2 現状・背景

本県が国から受託し、一般社団法人広島県医師会等の協力を得て、南米・北米交互に隔年で実施している。

※ 令和2年度、3年度は南米での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。現地の被爆者や協力医療機関等の意向を踏まえ、今年度受入れの希望があった南米・北米の3カ国3都市を訪問することとした。

3 概要

(1) 参加人数

計 64人

(内訳)

サンパウロ（ブラジル） 33人、 ロサンゼルス（米国） 27人、
バンクーバー（カナダ） 4人

(2) 事業内容

ア 実施内容

- ・現地医療機関での事前健康診断
- ・日本から派遣された医師による健康相談
(事前健康診断及び問診結果に基づく健康管理に係る助言など)
- ・行政職員による行政相談
(被爆者援護法に基づく医療費支給制度など)
- ・今後の事業実施に関する協議
(被爆者の高齢化に伴う事業の実施方法など)

イ 派遣団

(ア) 医師

松村 誠 広島県医師会会長、松村循環器・外科医院理事長
檜山 桂子 広島県医師会常任理事、福原医院院長
平川 治男 広島県医師会常任理事、広島赤十字・原爆病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長
重野 賢也 日本赤十字社長崎原爆病院副院長

(イ) 行政職員

広島県：健康福祉局長ほか2名、広島市：1名、長崎市：1名

(3) 訪問期間

令和4年10月29日（土）～11月12日（土）

(4) 予算（国庫）

53,297千円

4 その他 現地被爆者医療研修（HICARE）

サンパウロで、10月31日、11月1日に、現地で実際に被爆者に接する医師等を対象にHICARE主催の「被爆者医療研修会」を開催。〔講師：神谷研二（HICARE会長、広島大学副学長（復興支援・被ばく医療担当）、松村誠（※前掲）、広島県健康福祉局長（※前掲）〕

参加者数： 104名（10月31日 37名、11月1日 67名）